

## 第12回 理事会

日 時：令和5年3月20日(月)13:00~17:00

場 所：学会事務局(Web会議併用)

出席者：長田会長(議長)、清水副会長、北田副会長、末永常務理事、池見、稲垣、太田、大谷、大津、小俣、笠、佐々木、西山、長谷川(淳)、長谷川(信)、平野、升元、三好、村上、和田各理事、野村、緒方各監事

欠席者：竹村、徳永、林、船山、三田村各理事  
(理事25名中20名出席(過半数)により理事会は成立)

陪席者：熊谷(事務局)

議事内容：

### 1. 前回議事録の確認

- ・令和5年2月21日開催の令和4年度第11回理事会の議事録案について、承認した。

### 2. 審議事項

#### 1) 会員状況の確認

- ・事務局長より4月1日からの入会の希望者について説明があり、前回理事会後に希望のあった正会員2名の入会を承認した。
- ・事務局長より3月20日時点における会員状況について説明があり、正会員1,778名、学生会員47名、名誉会員65名となり、総数は1,890名であることを確認した。
- ・今年度は高齢者の退会希望者が多かったことから、シニア会員制度について検討を加速することとなった。

#### 2) アクションプラン2023-2024について

- ・常務理事より説明があり、審議の結果、一部文章表現の修正を行った上でアクションプラン2023-2024を制定することを承認した。

#### 3) 令和5年度予算案・事業計画案について

- ・事務局長より、令和5年度予算案について説明があり、審議の結果、予算案の構成について承認した。
- ・常務理事より、令和5年度事業計画案の説明があり、審議の結果、事業計画案を承認した。
- ・令和5年度事業計画案については、未提出の部分及早急にとりまとめ、理事会に諮った上で確定することとなった。

#### 4) 永年会員表彰選考結果について

- ・常務理事より説明があり、審議の結果、永年会員表彰候補者を永年会員表彰者とするについて承認した。今年度会費を納入していない1名の会員については、会費納入の意思を確認した上で、永年会員表彰者とする事となった。

#### 5) ダイバーシティ推進委員会発足について

- ・担当理事より説明があり、審議の結果、常置委員会

としてのダイバーシティ推進委員会の設立、ならびにダイバーシティ推進委員会運営規程の制定について承認した。

- ・ダイバーシティ推進委員会運営規程については、第2条の一部の表現を見直すこととなった。

#### 6) 事務局長の契約更新について

- ・常務理事より説明があり、審議の結果、熊谷事務局長の契約を更新することについて承認した。

#### 7) 令和5年度支部交付金の配分について

- ・常務理事より説明があり、審議の結果、支部交付金の配分額について承認した。

#### 8) 令和6年度研究発表会の会場について

- ・常務理事より説明があり、担当理事より検討した会場および選定している会場に関する補足説明があった。審議の結果、会議室の利用と目的についての理事会の意見を踏まえ、再度理事会に諮ることとなった。
- ・第一候補の会場について、新型コロナウイルス感染症再拡大など、予期せぬ事態があった場合にもキャンセルは不可であるか確認することとなった。また、2024年の研究発表会の日程の選定に際しては、国際会議や関連する学会のイベントとの重複について調査することとなった。2002年に研究発表会を開催した際の意見交換会会場は多少狭小であったとの指摘があった。

#### 9) 令和5年度シンポジウムの参加費について

- ・担当理事より説明があり、審議の結果、参加費は例年通り有料とすることとし、特別講演はYouTube等により無料で配信することを検討することとなった。
- ・シンポジウムのプログラムや講演内容については早急に確定し、話題提供者に周知することとなった。

### 3. 本部からの報告事項

#### 1) 収支状況

- ・事務局長より説明があり、令和4年度は概ね黒字決算となる見込みであることが確認された。

#### 2) 第9回応用地質技術入門講座について

- ・清水副会長より説明があり、例年よりも少し早い開催時期となっていること、募集人員を昨年よりも少なくしていることが紹介された。

#### 3) 第5回火山地域の応用地質と岩の力学に関する国際ワークショップ決算報告について

- ・担当理事より説明があり、岩の力学連合会と交わした覚書に従い、収益の半分が当学会の収入となることが報告された。
- ・今回の収入を計上する会計について議論を行った。将来の国際的活動の準備に充当することを考え、例

例えば田中治雄国際積立金などの特別会計に計上することが望ましいといった意見が出された。

#### 4) トルコ・シリア地震での岩盤地すべりの速報について

・担当理事より説明があり、災害地質研究部会等を取りまとめられた地震時の岩盤地すべりの速報、ならびにトルコ・シリア地震の報告会関連の情報について確認した。

#### 5) 日本学術会議法改正法案に関するご報告について

・常務理事より説明があり、日本学術会議法改正法案が提出されていないことが確認された。

#### 6) 防災学術連携体の今後のスケジュールについて

・常務理事より説明があり、防災学術連携体の定時総会やシンポジウムの日程が確認された。定時総会には清水副会長と末永常務理事が出席することが紹介された。

#### 7) 他学協会からの依頼

・常務理事より、「令和6年春の科学技術に関する黄綬、紫綬及び藍綬褒章受章候補者の推薦」について説明があった。清水副会長が説明会に出席することとなった。  
・常務理事より、日本地球惑星科学連合「学協会事務局機能に関するアンケート」について説明があった。議論の結果、事務局機能を委託する考えがないことをアンケートで回答することとなった。

#### 4. 各委員会・支部・研究部会・小委員会からの報告事項

##### 1) 総務委員会

・3月14日開催の委員会議事録案が提出された。  
・常務理事より、現在の検討事項として、著作権に関する規程制定、および研究部会運営規程の改定に向けた検討を行っていることが紹介された。

##### 2) 広報・情報委員会

・2月17日開催の委員会議事録が提出された。  
・担当理事より、Web会議トラブル事例集の作成、広報活動の要望聴取、YouTube・Instagramアカウントについて検討を行っていることが紹介された。  
・広報・情報委員会では委員の拡充を検討しており、その際委員の公募を行う必要は必ずしも無いこと、現行の規則上は学生会員が委員になることも可能であることが確認された。

##### 3) 事業企画委員会

・当学会と日本地質学会の共催による「2023年地質の日記念 街中ジオ散歩 in Yokohama」の案内文書が提出された。  
・担当理事より、令和5年度研究発表会の会告案について説明があり、今回は4件の特別セッション(「応

用地質学から見た関東大震災100年と地域の地震災害」, 「アジア地域の自然災害と社会システムにおける応用地質の関わり」, 「火山地域の応用地質」, 「理学と工学の融合における都市開発と日本応用地質学会のこれから」, いずれも仮題)が企画されていることが紹介された。

##### 4) 応用地質学教育普及委員会

・清水副会長より、3月10日開催の第6回委員会議事録(案)が報告された。  
・応用地質学入門講座は、5月に実施する「小山ダム」地点以外に、「大谷石」、「いすみ」の2地点について、令和6年度以降に開催できるよう準備を進めていることが報告された。  
・日本応用地質学会表彰の対象として、Geo-Netに大学として唯一参加し技術者教育に取り組んでいる「山口大学理学部地球圏システム科学科」を委員会推薦とする予定であることが報告された。

##### 5) 北海道支部

・令和4年度北海道支部活動報告が提出された。  
・担当理事より、2月3日に開催された技術講習会、2月23日に開催されたジオ・フェスティバルin Sapporoへの出展について説明があった。当学会と北海道応用地質研究会、北海道地質調査業協会で共同出展した「石英拾い」、「ARサンドボックス」については、いずれも好評であったことが紹介された。

##### 6) 東北支部

・令和5年度研究発表会準備状況に関する資料が提出された。  
・担当理事より、研究発表会の準備状況の説明があった。プレイベント(アースサロン・キャリアデザインセミナー・若手研究発表会)、特別講演、ポスターセッション、意見交換会、見学会についての内容と準備状況が紹介された。会場費のうち、入場料についての考え方について検討しているとのことであった。

##### 7) 社会貢献と魅力発信に関する特別委員会

・3月14日開催の委員会議事録案が提出された。  
・常務理事より説明があり、現状では支部のアウトリーチ活動について、現在実施している活動の情報共有と、新たなアウトリーチ活動のアイデアについてディスカッションを行っていることが紹介された。